

嘉麻市地域整備協議会進捗状況

11月に答申が終わりました、碓井地域整備協議会と山田地域整備協議会の答申内容等について報告します。

山田地域整備協議会

● 答申内容 / 平成29年11月30日答申 ●

1. 山田地域の地域特性をいかした地域整備のあり方に関すること

- 支所設置付近である山田生涯学習館や近隣施設等と一体化したコンパクトなまちづくりを目標に地域整備を行うこと。
- 子育て、定住促進拠点としてのまちづくりを目指し、様々な手法を用いながら住みたいと思えるような地域整備を行うこと。

2. 山田地域の庁舎周辺地域の整備方針及び支所のあり方に関すること

(1) 整備方針について

- 山田庁舎については、建物の老朽化や耐震性を考慮し、除却することを前提とした活用を検討すること。
- 活用については民間譲渡区画として、分譲宅地や商業、高齢者用施設等としての活用として一定期間の公募を行い、民間活力の導入を図ること。
- 公募がなかった場合は、分譲宅地や多目的広場、高齢者用施設等を想定した整備等を検討すること。

(2) 支所のあり方について

- 支所は山田生涯学習館と連携できるよう、雨避けを設置するなど容易に行き交いできることや、多目的トイレを共用するなど相互に補完できる施設を検討すること。
- 支所の規模は諸証明の発行や簡易な申請及び相談、また地域振興やコミュニティ拠点として、職員15人(正規職員数は10人)が勤務できる執務室、期日前投票や各公共団体が使用できる会議室、防災資機材を置くことができるスペースを持つ施設とすること。
- 災害対策本部が設置された場合、地域対策支部として災害対策本部と連携を取りながら補完的な活動を行い、物資備蓄機能と情報収集伝達機能を確保できる施設とすること。
- ユニバーサルデザインに準じた、市民の利用しやすい支所とすること。

3. その他附帯意見

- 定住促進に向け、交通利便性の向上を図ること。
- 支所設置の際は近隣住民に十分配慮すること。
- 支所設置に伴い減少する駐車場については、周辺施設との連携活用を検討すること。
- 旧山田高等学校跡地について関係団体と協議し、利活用について検討すること。

答申の様子▶

左より 村上会長、赤間市長



● 問 / 地域活性推進課 ☎62-5677

碓井地域整備協議会

● 答申内容 / 平成29年11月15日答申 ●

1. 碓井地域の地域特性をいかした地域整備のあり方に関すること

- 碓井庁舎、碓井琴平文化館、道の駅うすいや琴平公園等の既存施設を有効活用し、相互にいかしながら回遊性のある地域整備を行うこと。
- 教育拠点・商業拠点としてのまちづくりを目指し、様々な手法を用いながら住みたいと思えるような地域整備をすること。

2. 碓井地域の庁舎周辺地域の整備方針及び支所のあり方に関すること

(1) 整備方針について

- 民間譲渡区画として、商業施設等の活用として、一定期間の公募を行い民間活力の導入を図ること。
- 公募がなかった場合は、碓井庁舎前面の芝生化、遊具設置等を行い、道の駅うすいを中心とし、商業集積地の利活用を検討すること。

(2) 支所のあり方について

- 支所の規模は諸証明の発行や簡易な申請及び相談、また地域振興やコミュニティ拠点として、職員15人(正規職員数は10人)が勤務できる執務室、期日前投票や各公共団体が使用できる会議室、防災資機材を置くことができるスペースを持つ施設とすること。
- 災害対策本部が設置された場合、地域対策支部として災害対策本部と連携を取りながら補完的な活動を行い、物資備蓄機能と情報収集伝達機能を確保できる施設とすること。
- 碓井庁舎を利活用し、支所を設置すること。また、平成38年度までは、教育委員会(教育センター併設)を設置するが、平成39年度以降、教育委員会が新庁舎へ移動となった場合にできる空きスペースについては、再度検討を行うこと。
- 碓井庁舎の老朽化に伴い、将来的に支所の建設が必要になったときは、山田、嘉穂と同程度の支所を建設すること。

3. その他附帯意見

- 碓井地域整備協議会で提出された意見については、最大限尊重すること。
- 将来に負担を残さない財政状況を踏まえた整備を行うこと。
- 碓井庁舎前の周辺道路について安全かつ混雑を解消するような整備を検討すること。
- 碓井地区の商業マップ等、地域整備基本計画前に対応できるものについては、迅速に検討を行うこと。

答申の様子▶

左より 赤間市長、嶋田会長



12月に答申が行われました稲築地域整備協議会と嘉穂地域整備協議会の内容については、次回広報嘉麻2月号に掲載いたします。委員として携わっていただいたみなさま、ありがとうございました。